



**2018年3月期
決算説明会**
2018年5月17日

TDCソフト株式会社
代表取締役社長
谷上 俊二

本日のポイント

2018年3月期の実績

- ・売上については各事業分野の成長戦略が計画通り推移し、増収。
- ・期初に計画したとおりに、次世代型 S I 事業等に向けた投資を積極的に推進

トピックス

- ・近畿大学と人工知能を用いた学生評価支援の研究を開始
- ・産業技術大学院大学とエンタープライズアジャイル分野に関する共同研究を開始
- ・RPAソリューション「WinActor」の販売及び導入支援を開始
- ・クラウド型ワークフローシステム「Styleflow」を販売開始
- ・IT企業向けアプリマーケット「Meeepa」をリリース開始

目次

- 平成30年3月期の決算概況
- 分野別の状況
- トピックス
- 2018年度経営方針

決算概況(連結)

(単位：百万円)

2018年3月期

利益率

増減率

2017年3月期

売上高	23,946	-	+4.2%	22,991
売上総利益	4,808	20.1%	+9.0%	4,411
営業利益	1,851	7.7%	+12.5%	1,645
経常利益	1,906	8.0%	+12.8%	1,690
当期純利益	1,249	5.2%	+7.2%	1,165

【売上高】

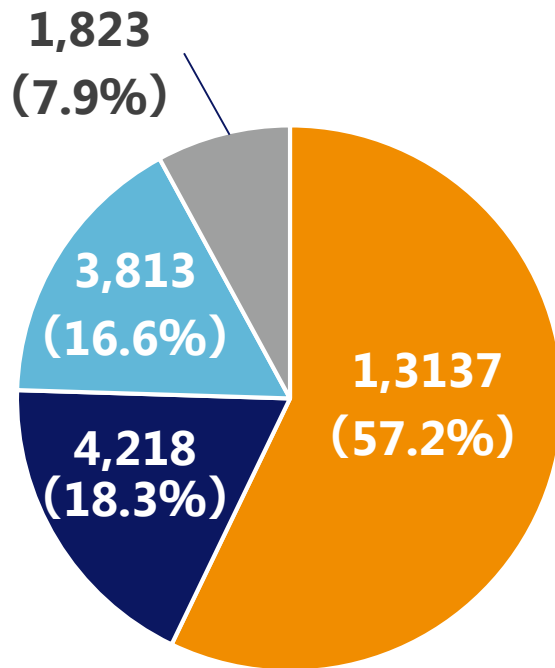
- 各事業分野の成長戦略が計画どおりに推移

【利益】

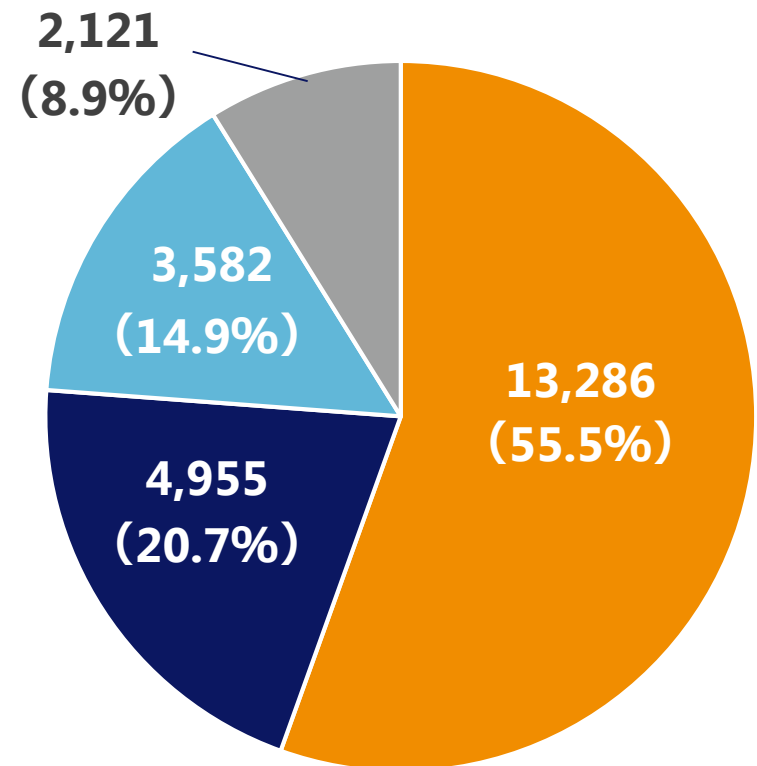
- 堅調に事業環境が推移する中、期初に計画したとおりに次世代型 S I 事業等に向けた投資を積極的に推進

分野別売上高概況

2017年3月期
22,991百万円

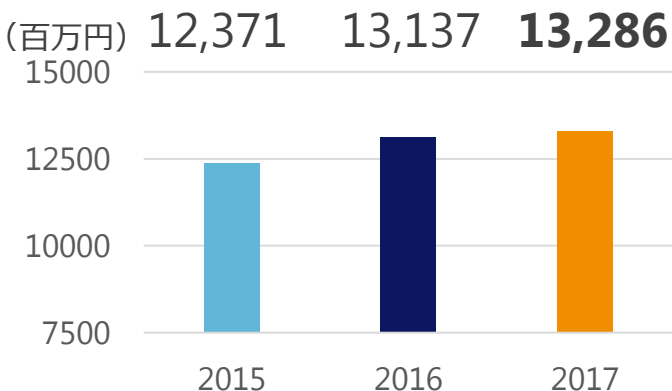


2018年3月期
23,946百万円



分野別ハイライト

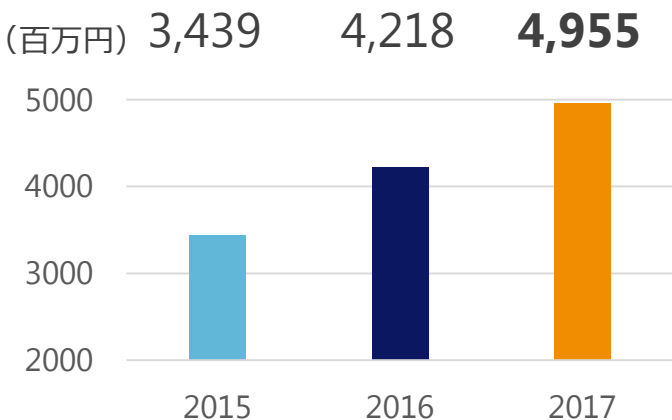
金融アプリケーション開発分野



銀行、保険業向けシステム開発案件において一部の大型案件がピークアウトした影響が出る中、保険、信販・リース業向けシステム開発案件が堅調に推移

前年同期比1.1%増収

法人アプリケーション開発分野

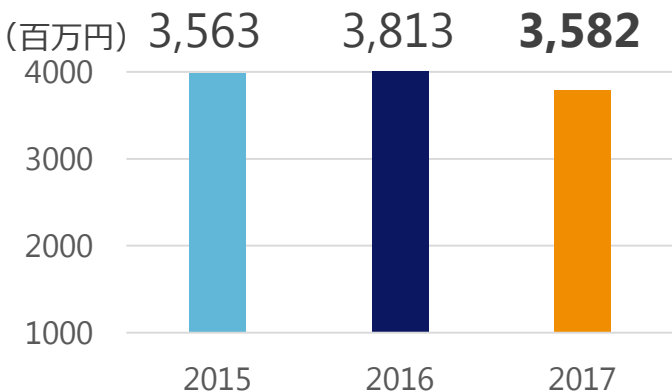


流通業や製造業、公共向けシステム開発案件等が堅調に推移

前年同期比17.5%増収

分野別ハイライト

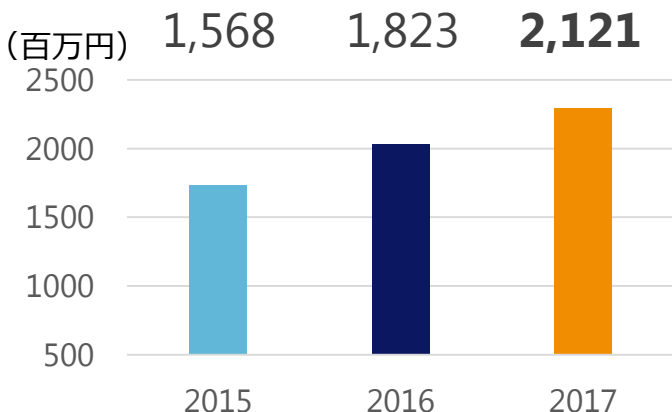
ソリューション分野（インフラ・ネットワーク）



通信業、官公庁向け I T インフラ構築案件が堅調に推移したものの、ネットワークミドル開発分野が減少

前年同期比6.1%減収

ソリューション分野（パッケージ等）



自社製品「Trustpro」に関連する案件や DWH、CRMに関連する案件等が堅調に推移

前年同期比16.4%増収

トピックス～次世代型 S I 事業に向けた取り組み～

将来を見据え、次世代型 S I 事業投資を本格的に開始。

● AI・データサイエンス分野

近畿大学においてアクティブ・ラーニングを通じ、学生の学習意欲をAIが分析、評価支援を行うことで、教育の質的転換を目指す共同研究を開始。

● アジャイル開発・マイクロサービス分野

世界的にもフレームワークとして未整備の状況であるエンタープライズアジャイル開発分野において、開発手法を確立するとともに当該分野の技術者の育成を目的に産業技術大学院大学と共同研究を開始。

● セキュリティ分野

2015年度より発足したTDC-CSIRTにおける活動で蓄積したノウハウを事業に活用する取り組みを実施。

● R P A 分野

オフィス業務の効率化、自動化を支援するRPAソリューション「WinActor」の販売及び導入支援を開始

トピックス～次世代型 S I 事業に向けた取り組み～

●クラウドソリューション分野

Trustproを中核に据えた、ホールプロダクト戦略の拡充を推進

Trustpro

クラウド型開発フレームワーク

コアプロダクト



ストレスチェック支援ソリューション

累計10万ユーザー突破！



組織パフォーマンスを向上させる
チームマネジメントシステム

累計2万ユーザー突破！



IT企業向け購買管理システム

2,000社以上の
IT企業が利用！

2017年度提供開始

2017年
6月～



Styleflow

クラウド型ワークフローシステム

ExcelやWordで作成した申請フォームをWeb上の
フォームに変換し、簡単に利用が開始できるクラウド
型ワークフローシステム

1万ユーザー突破！

2017年
11月～



Meeepa

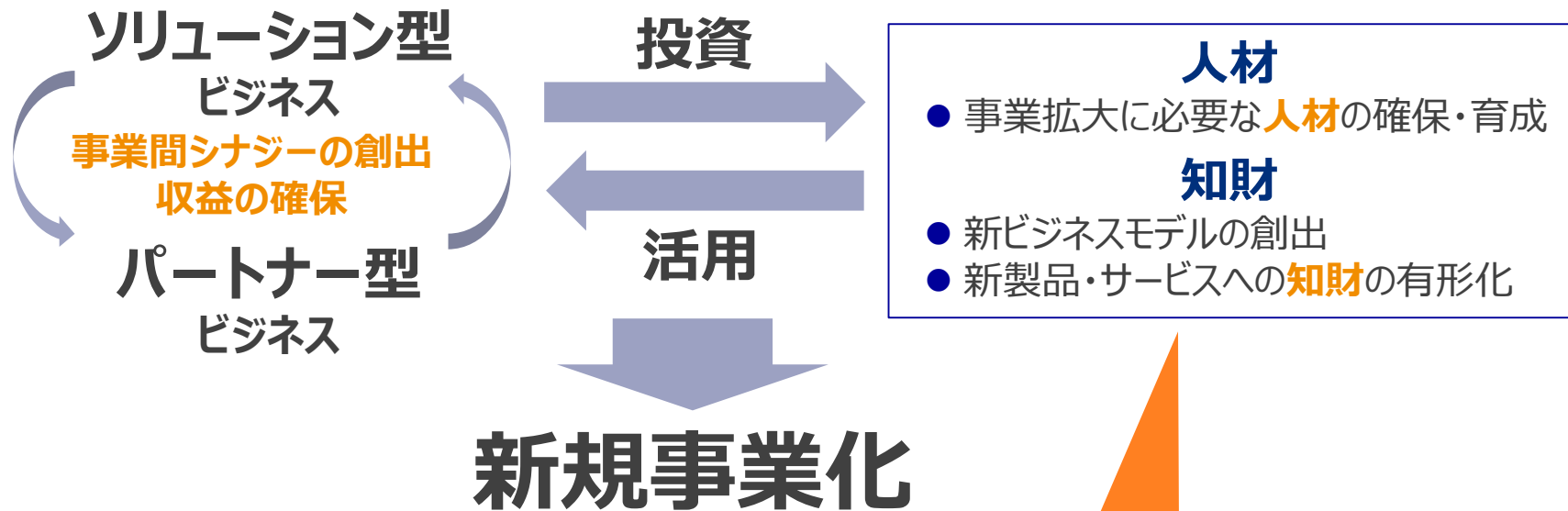
IT企業向けアプリマーケット

IT企業の企業間、技術者間の広い交流を目指すビ
ジネスプラットフォームサービス。ファーストリリースとして
「スキルシート管理」アプリから無償提供を開始

2018年度経営方針

『中期経営計画に基づき5年後を見据えた経営を加速する』

中期経営計画方針『攻めの5年間』収益確保と財産（人材、知財）づくり



重点施策

『次世代型S I 事業を加速化』
～投資・研究フェーズから事業化促進フェーズへのステップアップ～

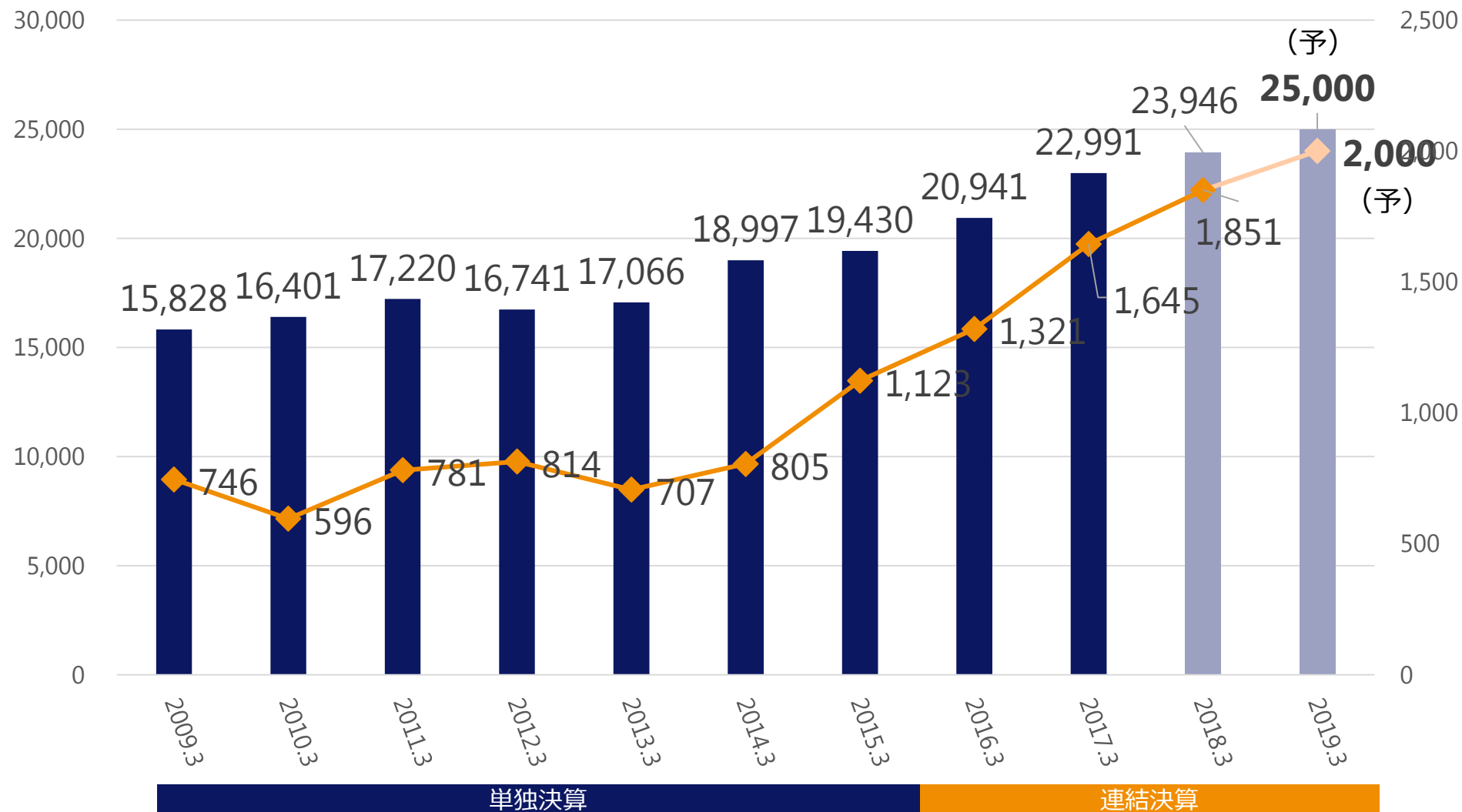
業績見通し

(単位：百万円) **2019年3月期** **増減率** **2018年3月期**

売上高	25,000	+4.4%	23,946
営業利益	2,000	+8.0%	1,851
経常利益	2,030	+6.5%	1,906
当期純利益	1,330	+6.5%	1,249
EPS	110.42円		103.73円

業績見通し

■売上 ◆営業利益



2018年3月期

決算内容

執行役員

経理部長

足立 薫彦

目次

- 損益計算書
- 売上高分析
- 営業利益分析
- 貸借対照表
- キャッシュフロー計算書

損益計算書

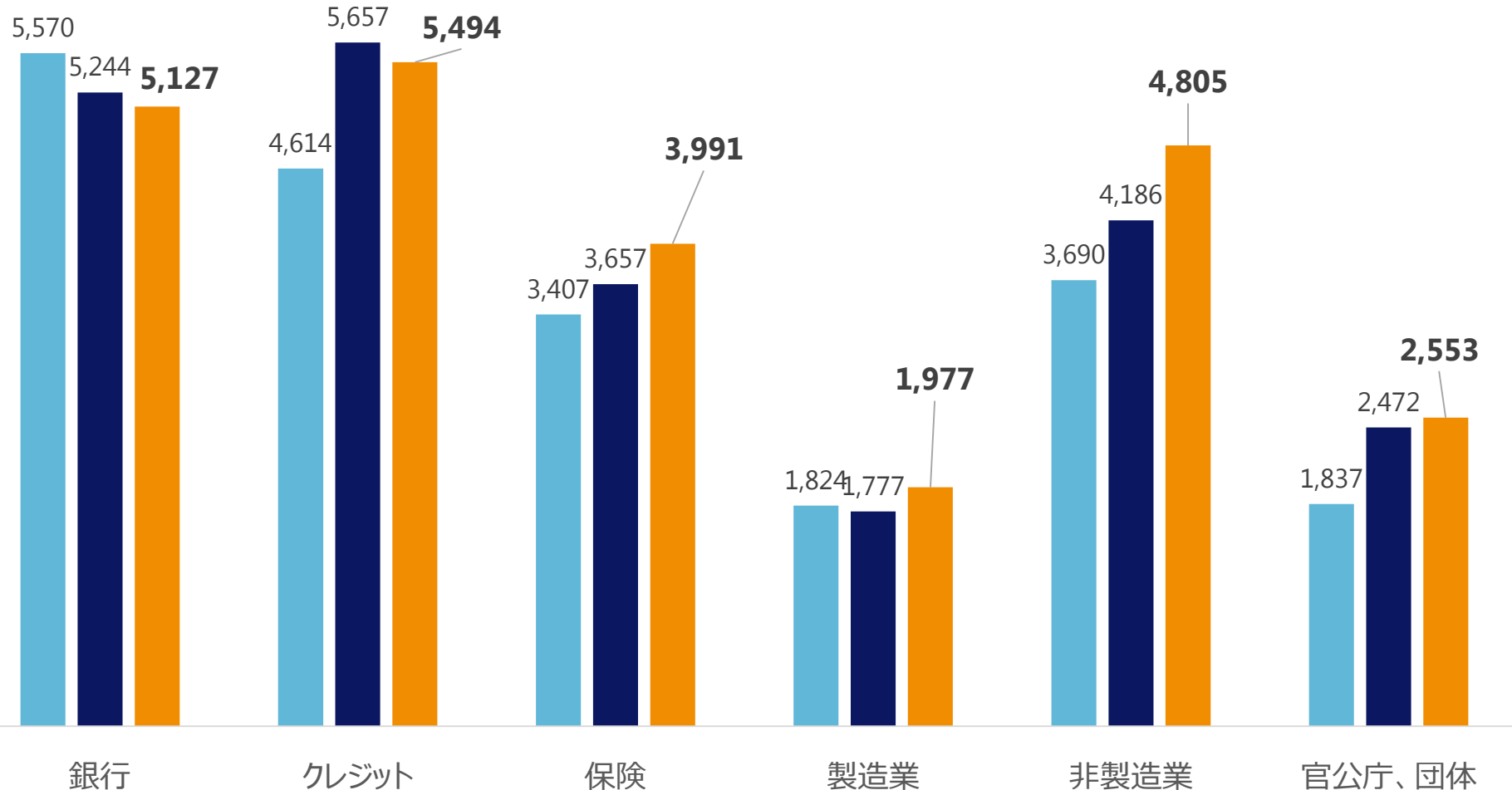
(単位：百万円)	2018年3月期	2017年3月期	増減率
売上高	23,946	22,991	+4.2%
労務費	9,347	8,875	+5.3%
外注費	9,077	8,868	+2.4%
その他経費	767	751	+2.1%
仕掛増減高 (-)	53	-84	-
売上原価	19,138	18,579	+3.0%
売上総利益	4,808	4,411	+9.0%
販売費及び一般管理費	2,956	2,766	+6.9%
営業利益	1,851	1,645	+12.5%
営業外収支	55	44	+23.6%
経常利益	1,906	1,690	+12.8%
特別損益	-	-	-
税引前当期利益	1,249	1,165	+7.2%
当期純利益	1,249	1,165	+7.2%
EPS	103.73	96.75	+7.2%

顧客業種別売上高概況

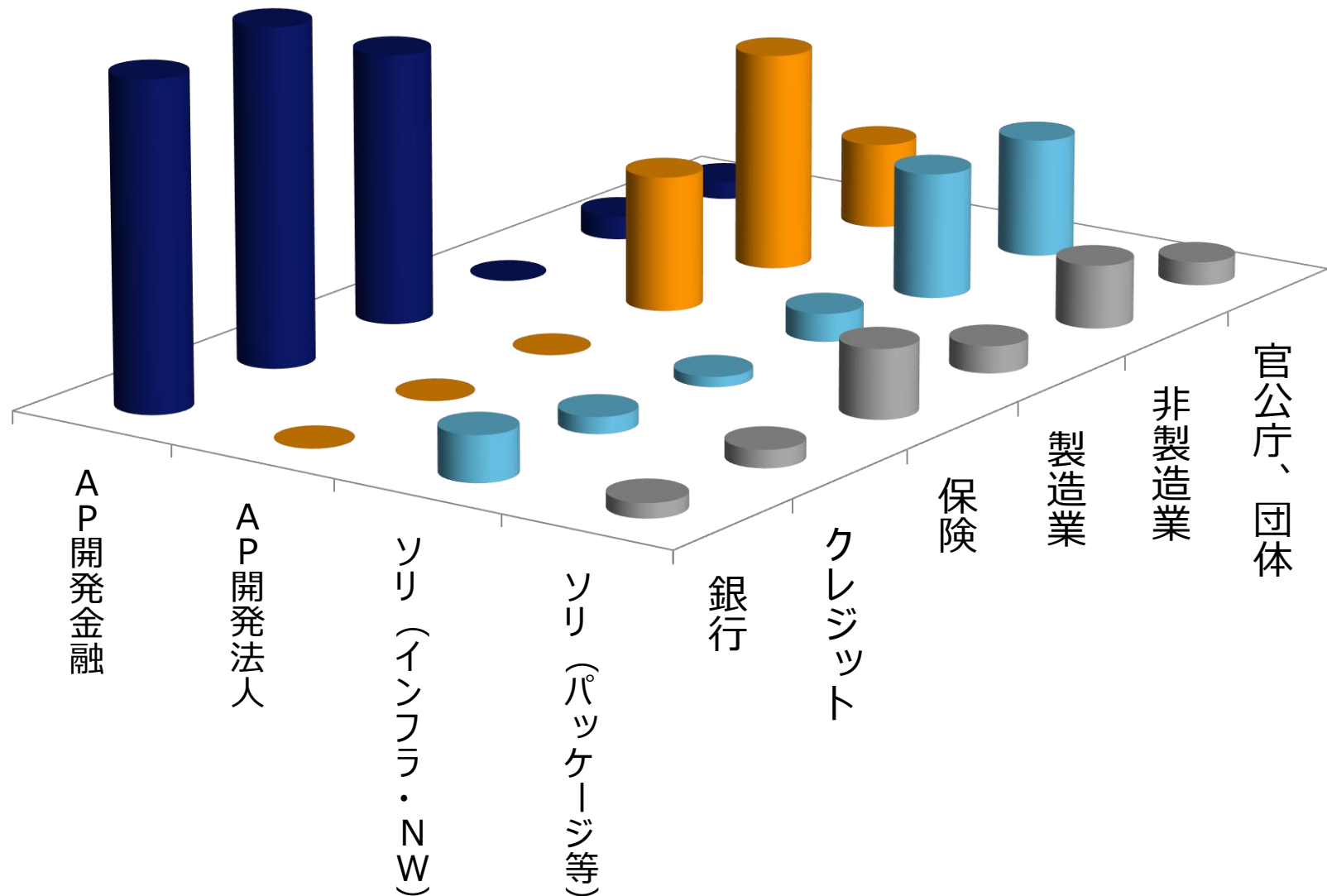
(百万円) 2016年3月期

2017年3月期

2018年3月期



顧客業種別売上高概況



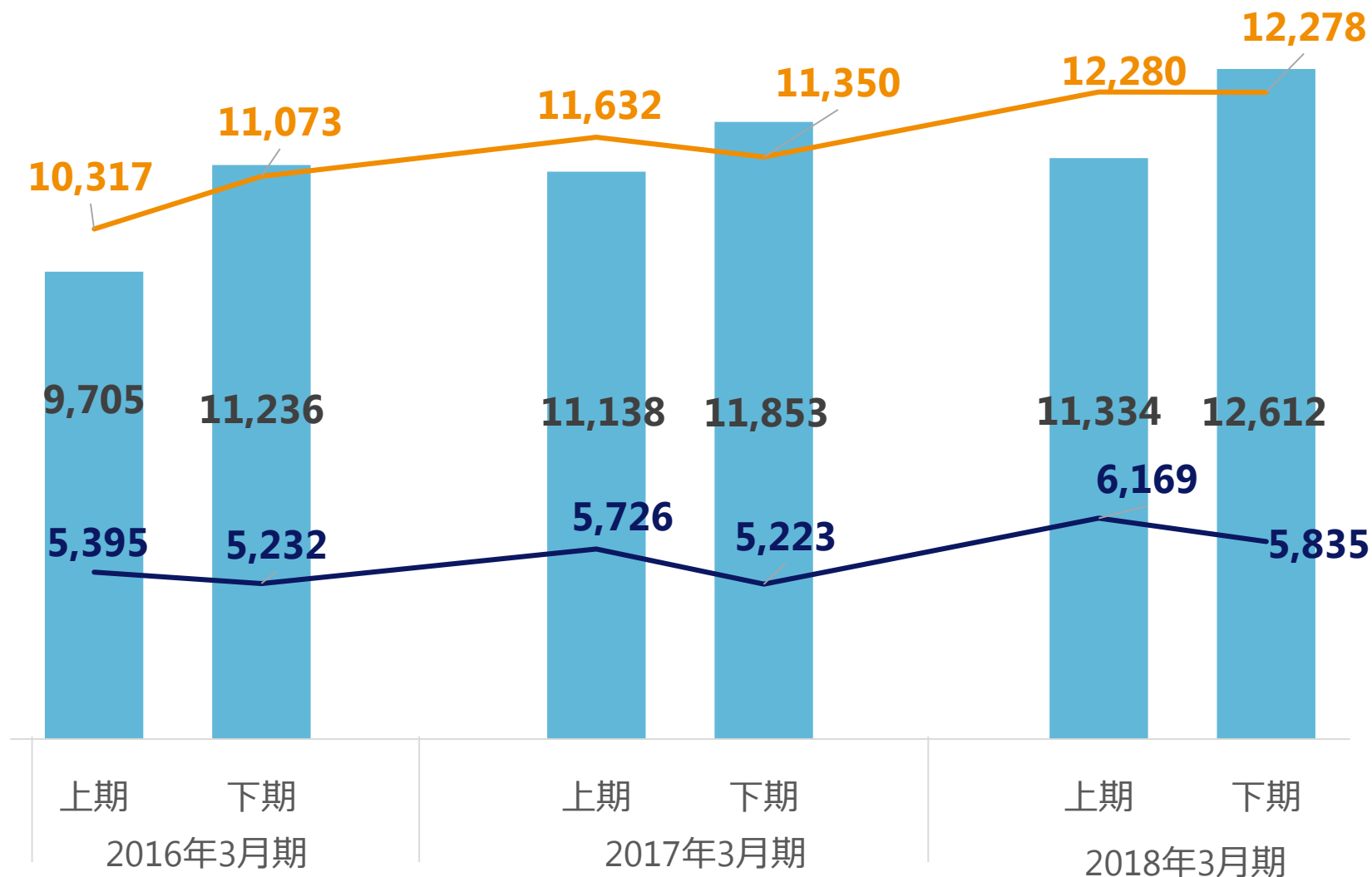
受注高・受注残高の状況

(百万円)

売上高

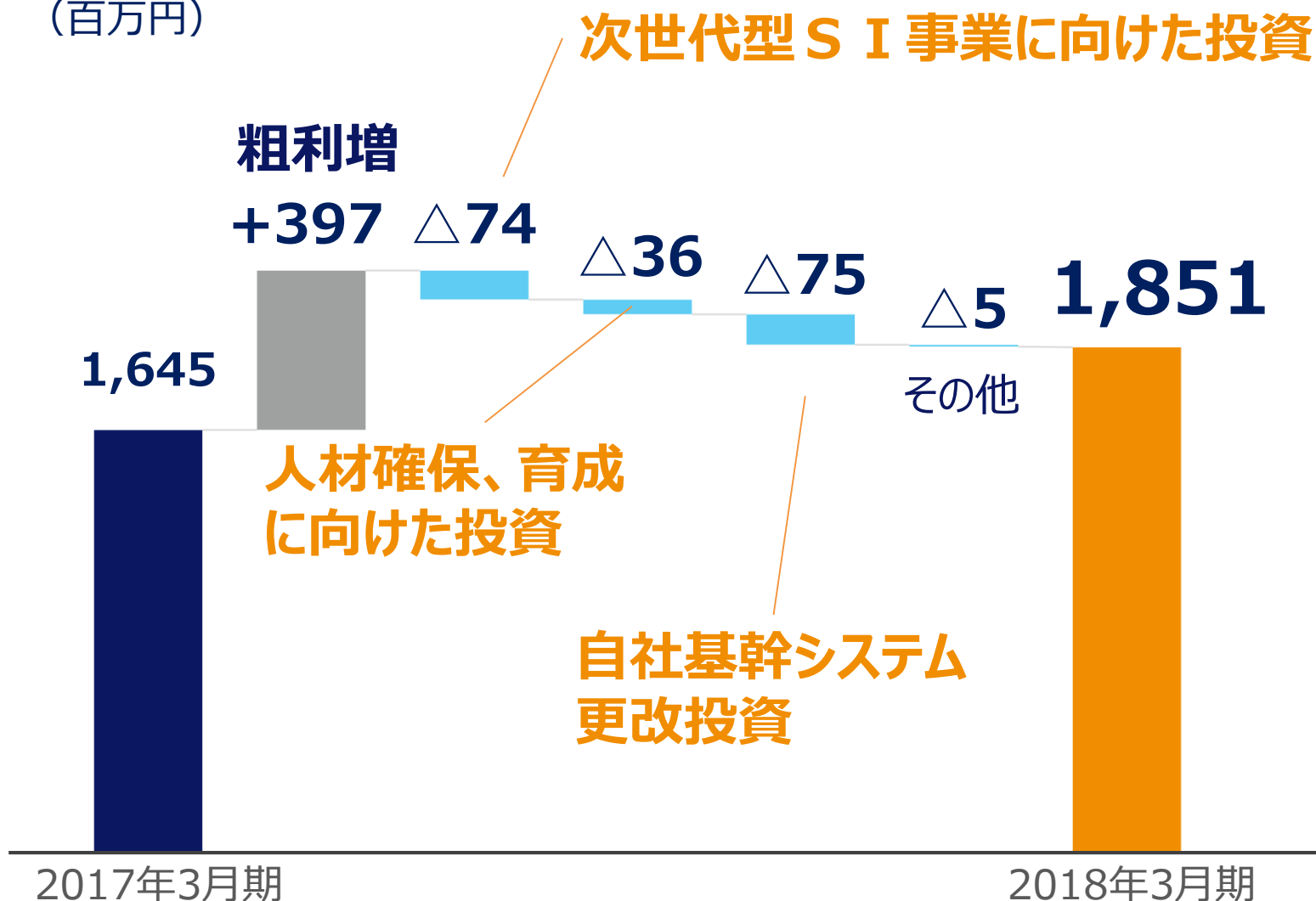
受注高

受注残



営業利益分析

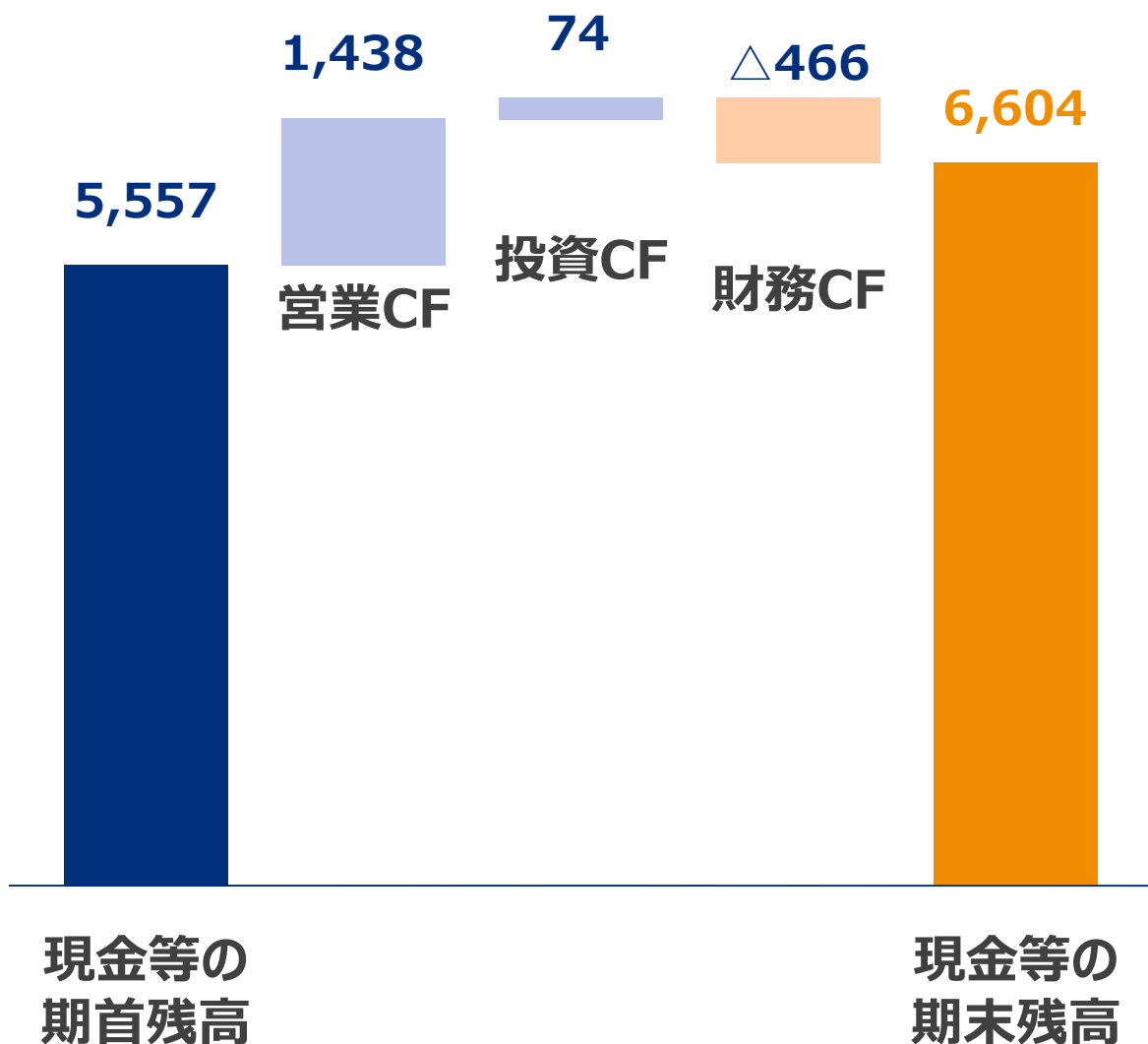
(百万円)



貸借対照表

(単位：百万円)		2018年3月期末	2017年3月期末	増減率
資産合計		15,078	13,615	+10.7%
	流動資産	12,090	10,991	+10.0%
	固定資産	2,987	2,624	+13.9%
負債合計		4,732	4,489	+5.4%
	流動負債	4,311	4,242	+1.6%
	固定負債	420	247	+70.3%
純資産合計		10,346	9,126	+13.4%
負債純資産合計		15,078	13,615	+10.7%
自己資本比率		68.6%	67.0%	-
1株当たり純資産		858.98	757.68	+13.4%

キャッシュフロー計算書



現金等の期首残高	5,557
税引前利益	1,906
減価償却費	122
売上債権	37
仕入債務	22
棚卸資産	△53
未払金	80
未払費用	81
その他	△64
法人税等	△693
営業CF	1,438
投資有価証券売却	103
投資有価証券取得	△40
利息及び配当金	35
その他	△24
投資CF	74
短期借入金増減	△75
配当金支払額	△385
その他	△6
財務CF	△466
現金等の期末残高	6,604

T D Cソフト株式会社

<http://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているT D Cソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。